

ふくおか & MAFF

2022.4

Vol.34

2022年3月28日発行

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。

Contents

- 一般社団法人 竹棚田（東峰村）
- つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～
- しめよう！シートベルト — 農作業安全確認運動実施中 —
- ロボットコンバイン動作実演会の動画掲載中！



一般社団法人 竹棚田（東峰村）

人々を見守り続けてきた竹の棚田。その保全や地域振興に取り組む一般社団法人竹棚田の代表理事 伊藤英紀様、事務局長 森山生子様にお話を伺いましたので、ご紹介します。

一 設立の経緯

- ・日本の棚田百選に選定された400年400枚の歴史と規模を誇る「竹の棚田」の美しい景観の保全活動を将来にわたり継続的にできるようにするために、地域活性化を図りながら自立できる集落の仕組みづくりを行うことを目的として、令和元年に設立。構成員は「東峰村棚田まもり隊」(構成:近隣3集落の有志)、竹棚田景観保全委員会(構成:竹地区全世帯)、一般社団法人 SINKa (コンサル事業団体)、東峰村。



竹棚田

※竹棚田は平成11年の日本の棚田百選に選定。令和2年、竹棚田を含む宝珠山地区が棚田振興法に基づく指定棚田地域に指定。令和4年2月、つなぐ棚田遺産に選定。

一 活動について

地域の皆様の協力のもと、**環境保全活動**、**都市住民との交流イベント**の企画・運営のほか、**村から受託した施設を運営**しています。

コロナ禍ですが、キャンプ場や古民家ゲストハウスの利用が盛況です。テントの張数を減らしたり、宿泊施設は宿泊者退去後1日空けて営業する等の対策が安心感につながっていると思います。カフェは週末や祝日の限られた営業ですが、棚田を見に来た方が立ち寄れる場として開業しました。このほか、岩屋湧水ヤマメの養殖と缶詰の製品化、棚田で栽培したかんしょ・棚田米から製造した米麴・岩屋湧水を原料にした本格芋焼酎の委託製造・販売なども行っています。

一 運営のポイント・今後の展望

事業の企画については、**法人の構成員である竹地区の全世帯と何度も話し合い**を行い、合意した計画をやりきってきました。当法人の目的は、**棚田を守り続けること**です。そのためには**棚田を守る人の定住、収入を得る場が必要**で、そこに当法人の存在意義があります。地域おこし協力隊の存在も大きく、任期後も村に定住できるように、**細く長く活動を続けつつも、創意工夫で法人の売上を増やしたい**です。

意見交換ありがとうございました！



古民家ゲストハウス



古民家ゲストハウス（内装）



キャンプ場



つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～

棚田地域の振興の取組を積極的に評価し、活性化や多面的な機能に対する一層の理解・協力を目的に、優良な棚田について、本年2月に全国から選定されました。福岡県は5地区です！



吉井上棚田(糸島市)

「棚田をキャンバスに描く「赤米アート」」

広内・上原地区の棚田(八女市)

「棚田保全で「用の美」を伝え続ける。」



写真等：農林水産省HPより。詳細はこちら！

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/sentei.html>



鹿里地区の棚田(八女市)

「おもてなしの心が息づく棚田」



竹(東峰村)

「人々を見守り続けてきた
竹棚田での農村交流」



つづら棚田(うきは市)

「棚田と彼岸花の原風景を守る
地域連携型活動」



(写真:うきは市様よりご提供)

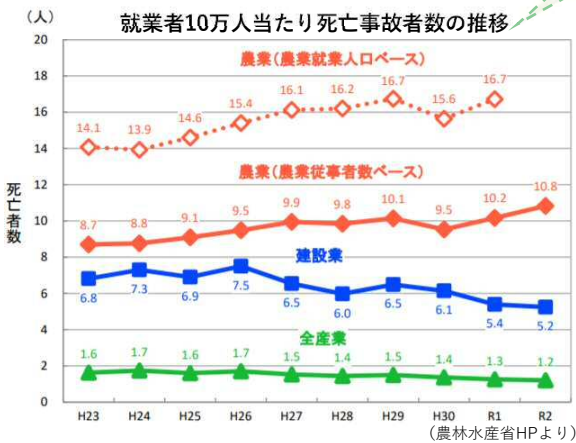


しめよう！シートベルト — 農作業安全確認運動実施中 —

全国の関係機関の協力の下、春作業が行われる3～5月を重点期間として、農作業安全確認運動を実施中です。令和4年春のテーマは、「しめよう！シートベルト」。この機会に安全対策の見直しを！

令和2年の農作業事故死亡者数は270人。就業者10万人当たりの死亡事故者数は10.8人。他産業との差は拡大傾向。

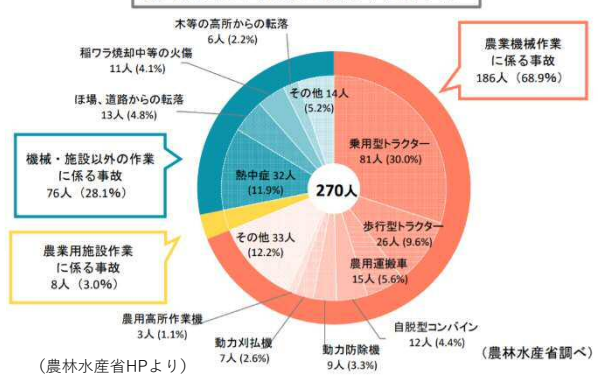
「農業機械作業に係る事故」が186人と最も高い状態が継続。そのうち、乗用型トラクターに係る事故が81人と最多。



詳細はこちら↓



要因別の死亡事故発生状況(令和2年)



ロボットコンバイン動作実演会の動画掲載中！

スマート農業実証プロジェクトに取り組む「ふくおか遠藤農産スマート農業実証コンソーシアム」で行われた、ロボットコンバイン動作実演会(令和3年12月1日)の動画を掲載しています！

こちら → <https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/katudou.html>



ロボットコンバイン動作実演会

スマート農業実証プロジェクト「ふくおか遠藤農産スマート農業実証コンソーシアム」

【お問合せ先】

九州農政局福岡県拠点地方参事官室
〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3-17-21 TEL 092-281-8261 (代表)
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/fukuoka/index.html>

